

# 京都六阿彌陀佛

巡拜

行先  
電車

## 功德日

(毎年かはるこころなと)

一番 東山眞如堂阿彌陀如來

銀閣寺前  
下車南エ  
二丁

正月十五日 佛を六万躰つくるにむかふ  
二月八日 五重の塔を卅万たつるにむかふ

二番 東山永觀堂阿彌陀如來

東天王町  
下車東南  
エ二丁

三月十四日 七堂がらんをたつるにむかふ  
四月十五日 九万六千人の僧に施しをするにむかふ

三番 東山清水奥院阿彌陀如來

東山線松  
原ヨリ東  
エ五丁

五月十八日 父母を千年供養するにむかふ  
六月十九日 風呂を一万度たくにむかふ

四番 五條坂安祥院阿彌陀如來

東山線五  
條ヨリ東  
エ一丁

七月十四日 塔婆を八万四千たつるにむかふ  
八月十五日 万燈を八万度こもすにむかふ

五番 京極安養寺阿彌陀如來

京極  
倒蓮華  
寺町四條  
ヨリ北エ  
一丁

九月十八日 万部経を八万度よむにむかふ  
十月八日 三千人の僧に衣服を一万度施にむかふ

六番 京極誓願寺阿彌陀如來

寺町四條  
ヨリ北エ  
三丁

十一月廿四日 施行を六万度するにむかふ  
十二月廿四日 法華経を三万部書寫するにむかふ

右の功德日を三年三月おこたらず巡拜すれば、我身をはじめ父母兄弟子孫に至る迄現当の利益を蒙り有縁無縁の精靈五逆の悪人も成佛うたがひなし又これを信じ人に教ゆる功德は十倍なりと阿彌陀如來より木食上人え告げ給ふ故に六阿彌陀巡拜は木食上人最初の發願なり上人は第四番安祥院開山にして同寺の裏に入場の靈跡あり

爲佛恩報謝先祖代々無縁法界、印施之

此印刷物見易き場所へ御張り置被下度候

尙御入用の方は右六ヶ寺にあります

何

某 敬白